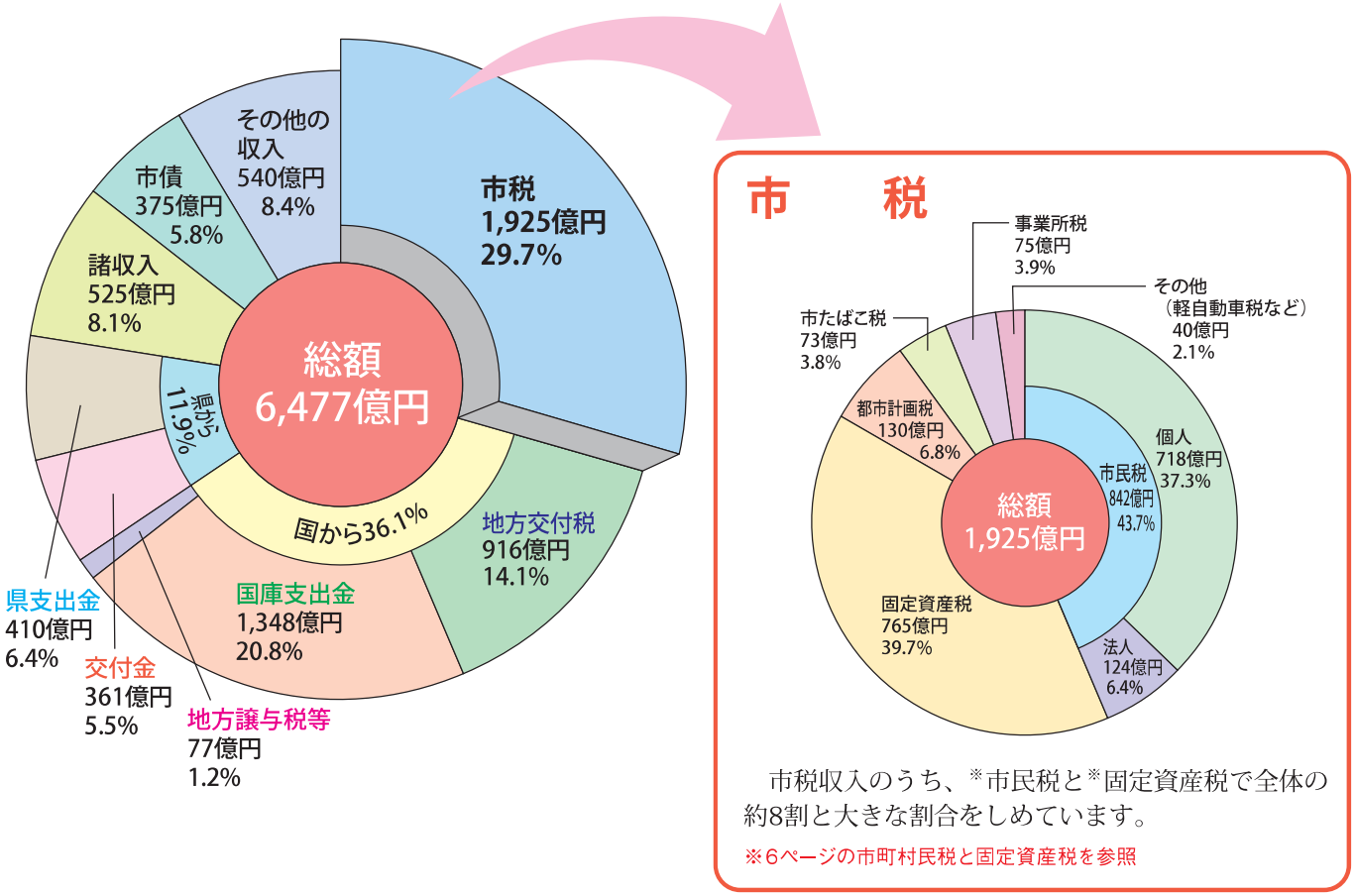
4 税金は1年間でどのくらい集ま

市の収入（歳入）と税金の流れ

北九州市の収入 （令和8年度当初歳入予算）



市税収入のうち、※市民税と※固定資産税で全体の約8割と大きな割合をしめています。

※6ページの市町村民税と固定資産税を参照

○ **地方交付税**（地方交付税交付金とも呼ばれています。）とは国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）の一部がどの地域に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるようにする目的で、財源が不足する市町村や都道府県に配分されるもので、使用目的が決められていないものです。

○ **国庫支出金**（こっこししゅつきん）とは国税などの国の収入から、国に関係のある事務の経費や特定の事業をすすめるための補助金などとして市町村や都道府県に支出されるもので、使用目的が決められているものです。例えば、国会議員の選挙のような国の仕事を市町村が代わって行う場合などに、その仕事に使うための必要な資金が国から市町村に支出されます。

○ **地方譲与税**（ちほうじょうよぜい）とは国税（地方揮発油（きはつゆ）税、石油ガス税、航空機燃料税、自動車重量税、特別とん税、森林環境税）の一部が公平に市町村や都道府県に配分されるものです。

○ **交付金**とは道府県税（地方消費税、事業税、道府県民税の利子割額（りしわりがく）・配当割額（はいとうわりがく）・株式等譲渡所得割額（かぶしきとうじょうとしょとくわりがく）、軽油引取税（けいゆひきとり）、ゴルフ場利用税）の一部が公平に市町村に配分されるものです。

るのだろうか？

北九州市の収入は？ 〈8ページの円グラフから読みとろう！〉

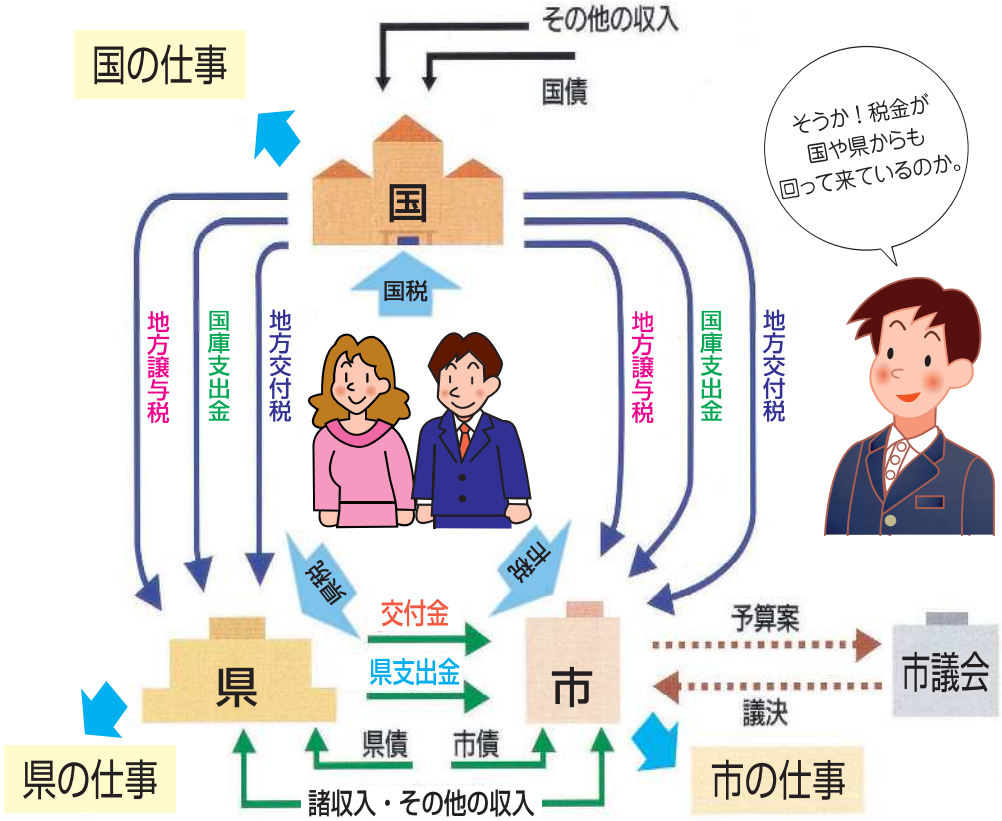
市の主な収入は、市税が（①　　）％、国から（②　　）％、県から（③　　）％、あわせて約（④　　）％が私たちの納めた税金によるものです。また、5.8％は（⑤　　）でまかなわれています。　　（答えは11ページ）

「税の三原則」

◯公平の原則
- 経済力が同等の人に等しい負担を求める「水平的公平」
- 経済力のある人により大きな負担を求める「垂直的公平」
- 近年では「世代間の公平」が重要

◯中立の原則
税制が個人や企業の経済活動における選択を歪めないようにする

◯簡素の原則
税制の仕組みをできるだけ簡素にし、理解しやすいものにする



◯　**県支出金**とは道府県税などの県の収入から、県に関係のある事務の経費や特定の事業をすすめるための補助金などで市町村に支出されるものです。

◯　**市債**とは市の収入不足の補充や、特別な事業のために必要な資金として、市民などから一時的に借り入れるために発行するものです。この借入金で建設された学校、道路、公園、ごみ焼却工場などは、将来の市民も利用することができ、負担も公平になります。

◯　**諸収入**には貸付事業などの返済金による収入のほかに、宝くじの売上による収入も含まれています。

◯　**その他の収入**には使用料や手数料のほかに、ふるさと納税（12ページ参照）などの寄附金が含まれています。

宝くじは、法律（当せん金付証票法）に定められた地方自治体（全国47の都道府県と北九州市を含めた20の政令指定都市）が、銀行などを通じて販売しています。

宝くじの売上金は、必要経費を除いた約40%が地方自治体の収入となり、少子化・高齢化対策、公園整備、教育及び社会福祉施設の建設改修等に使われています。

なお、令和6年度の北九州市の宝くじによる収益金は約31億円です。